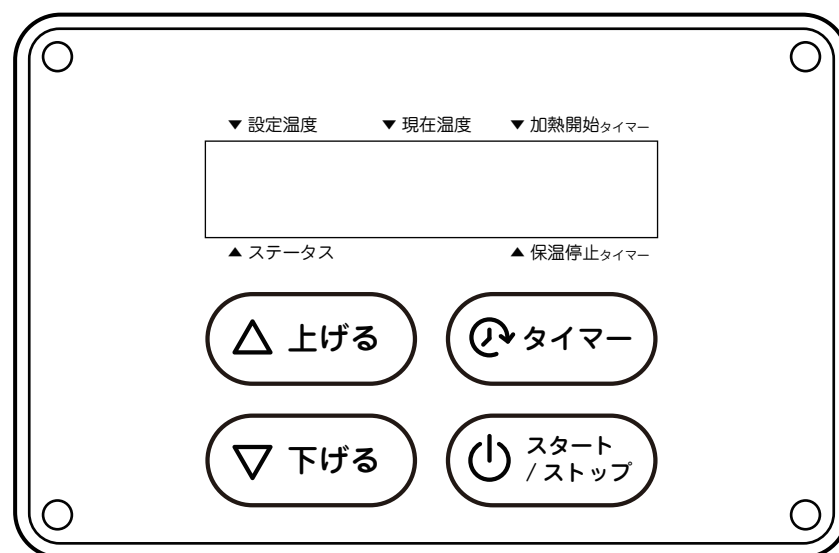


# 電気湯沸かしキット 3

## 取扱説明書



### 目次

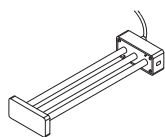
使用上の注意	… P.2
ボタンと表示の説明	… P.3
ヒーター各部の名前と説明	… P.4
基本的な使い方	… P.5
現在温度表示モード	… P.6
仕様	… P.7

## ■ 使用上の注意 かならずお読みください



### コントローラー について

1. コントローラー部分には**防水機能がありません**。コントローラーおよび電源プラグは浴室から出し、ヒーターユニットのみを浴室に入れ、浴槽にセットしてください。
2. 使用中に分解したり、ケース内部が露出した状態で稼働させたりしないでください。感電の恐れがあり大変危険です。
3. 稼働中、万一本体から異常な発熱を感知した場合は、直ちに電源プラグを抜き、本品の使用を停止してください。
4. コントローラー本体のプラグは必ず**家庭用 AC100V コンセント**に直接接続してご使用ください。また、コードは巻いたり束ねた状態で使用しないでください。
5. コントローラーおよびヒーターユニットは本書記載の使用方法に則り正しくお使いください。使用方法を誤った際の事故・怪我についての責任は一切負いかねます。



### ヒーターユニット について

1. ヒーターのコードは巻いたり束ねた状態で使用しないでください。また、コードを浴室のドアに挟んだり強い力で折り曲げたりしないでください。
2. 空焚き防止機能は万が一のための安全機能です。むやみに作動させるとヒーターの寿命に悪影響を及ぼす恐れがあります。日常的に作動させるような使い方はしないでください。
3. ヒーター稼働時は発熱部（金属管部分）にコードが接触しないよう注意してください。接触した部分がヒーターの熱で融ける恐れがあります。
4. ヒーターを水（お湯）から取り出す際は、必ず事前に湯沸かしコントローラーのスタート状態を解除してください。また、直前まで稼働していたヒーターは発熱部（金属管部分）に余熱を持っています。安全のため、電源を切ってもすぐには取り出さず、1分ほど水（お湯）に浸けておいてください。
5. **ヒーターを稼働させたまま入浴しないでください**。やけどの危険や、万一漏電が発生した場合は感電の恐れがあり大変危険です。ご入浴の際はヒーターの電源を OFF にし、浴槽より取り出してください。
6. ヒーターは防水性維持のため、分解・修理ができません。破損や故障が疑われる際は、交換が必要になります。決してご自身での修理を試みないでください。

# 表示とボタンの説明

## 設定温度表示

設定している温度がここに表示されます。スタートするとこの温度まで加熱した後、保温が行われます。設定温度は [△][▽] ボタンをタップして変更します。

## ステータス表示

現在のステータスを表示します。一般的なステータスは次の 4 つです。

**ストップ**…初期状態です。沸かしを行っていません。

**スタート / カネツ中**…湯沸かしがスタートしており、加熱中です。

**スタート / ホオン中**…湯沸かしがスタートしており、設定温度で保温しています。

**タイマースタート中**…加熱開始タイマーセットされており、設定された時間の間、スタートを待機しています。

## [△][▽] ボタン

設定温度の上昇・下降とタイマーの設定時間の増減に使用します。

## 現在温度表示

ヒーターに内蔵されている温度センサーが現在測定しているお風呂の温度です。湯沸かしがスタートすると徐々に温度が上がっていきます。

## 加熱開始タイマー表示

スタートを遅らせたい時に使用します。スタートボタンをタップした後、加熱が開始されるまでの時間を 0.5 時間（30 分）刻みで設定できます。

## 保温停止タイマー表示

お風呂が設定温度に達した後は保温状態が続きます。保温停止タイマーはこの保温を一定時間で終わらせたい時に使用します。0.5 時間～ 25.5 時間までの範囲で設定可能です。

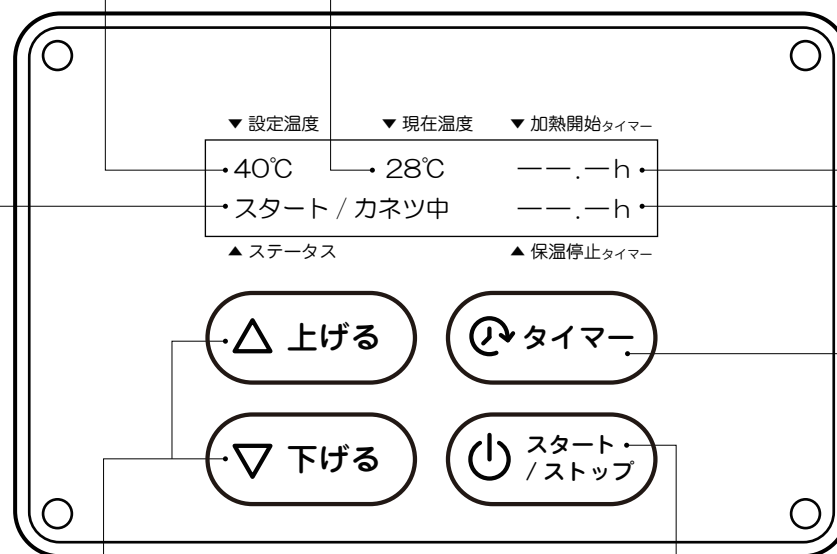
## タイマーボタン

一度タップすると点滅する設定カーソルが現れます。

設定カーソルはタイマーボタンをタップする度に「加熱開始タイマー」→「保温停止タイマー」→「設定カーソル非表示」の順番に切り替わります。

設定したいタイマーを選んだら、[△][▽] ボタンで時間を設定します。

タイマー機能の詳しい使い方は P.6 の「タイマー機能を使う」をご参照ください。



## スタート / ストップボタン

長押しタップするとスタートとなり、お湯が設定温度に達するまでヒーターが稼働し続けます。もう一度タッチするとヒーターの稼働がストップします。

### 【動作音】

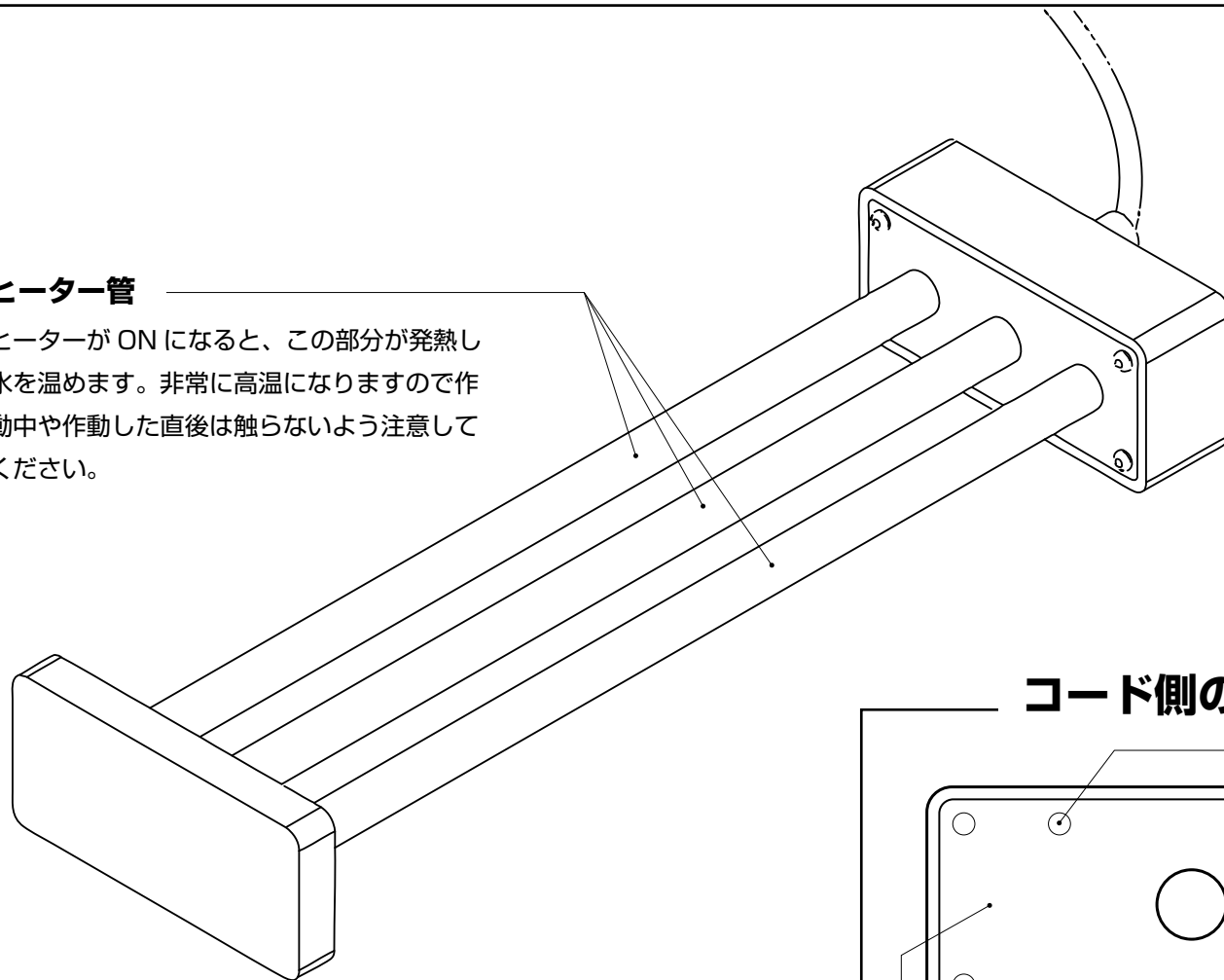
スタート時…「ピッ」

ストップ時…「ピピッ」

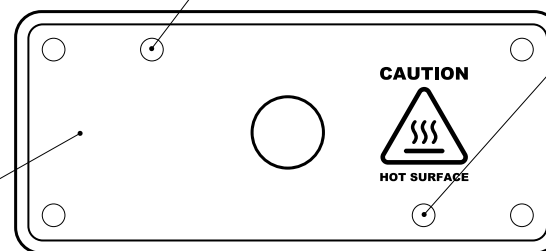
# ヒーター各部の名前と説明

## ヒーター管

ヒーターが ON になると、この部分が発熱し水を温めます。非常に高温になりますので作動中や作動した直後は触らないよう注意してください。



## コード側のパネル



## 温度センサー

この部分に水温を検知するセンサーが内蔵されています。

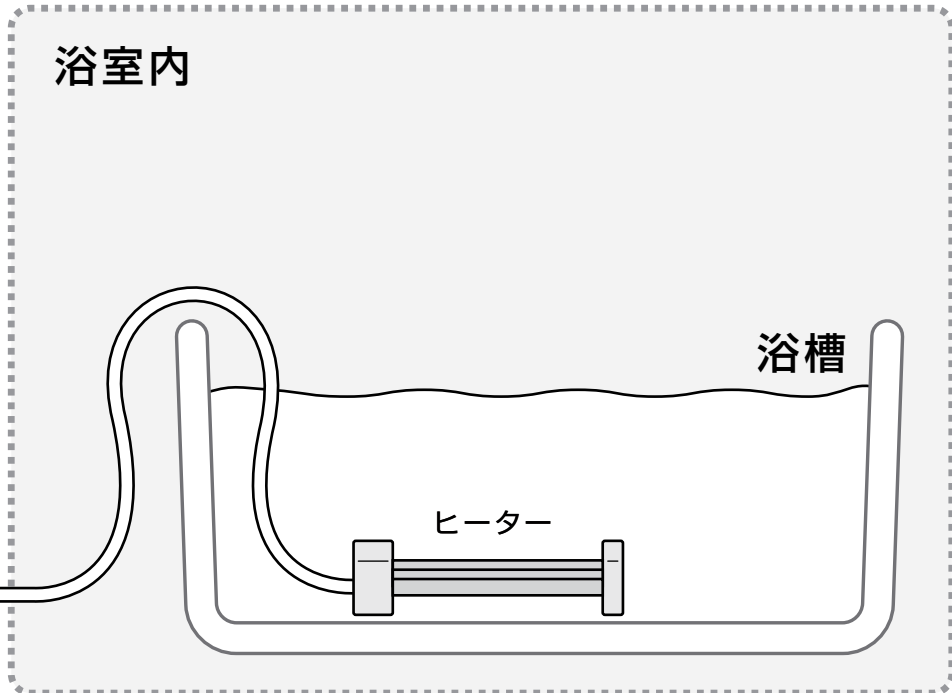
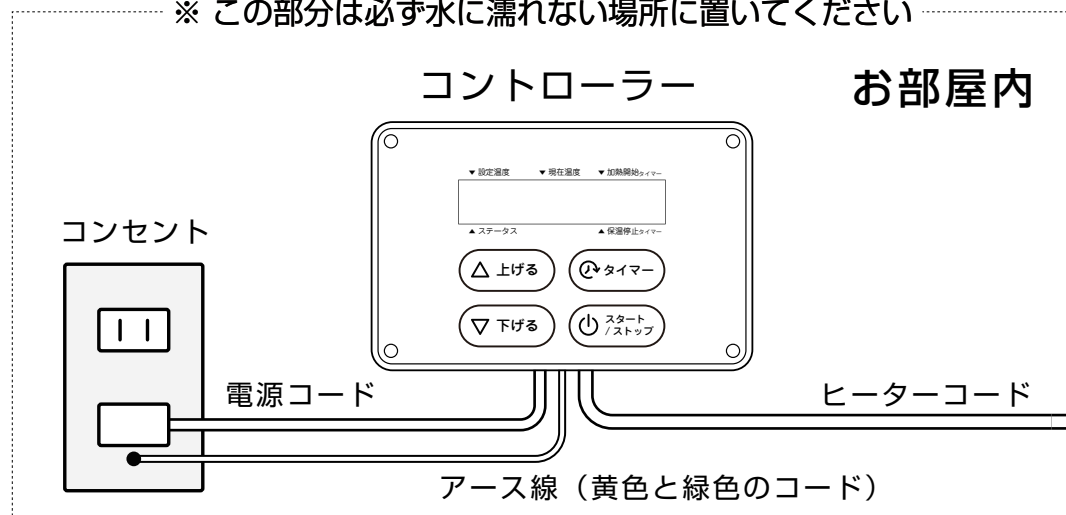
## 空焚き防止センサー

ヒーターが水に浸っているかを検知します。このセンサーが2箇所とも水に浸っていない場合、ヒーターは作動しません。既にヒーターが作動している場合、およそ5秒以内に停止します。

※センサーの表面に汚れが付着した時はやわらかい布で拭き取ってください。

# 基本的な使い方

※ この部分は必ず水に濡れない場所に置いてください



## ■アース線を接続する

コントローラーから伸びているアース線をコンセントのアース端子に接続してください。アース線は黄色と緑色の模様がついているコードです。

## ■ヒーターをセット

浴槽に水をはり、上の略図のようにヒーターを水中に沈めます。ヒーターは立てたり斜めに浮かせたりせず、浴槽の底にしっかりと寝かせた状態で沈めてください。

## ■電源を入れる

ヒーターのセットが完了したら、コントローラーの電源プラグをコンセントに挿し込みます。表示画面が青く点灯することを確認してください。



▲ ヒーターを浴槽の底に寝かせた状態セットします。底に沈めることで、空焚きの防止になるだけでなく、浴槽内に対流が発生し、はられた水をまんべんなく温めることができます。

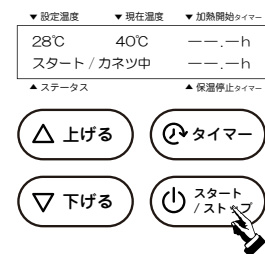
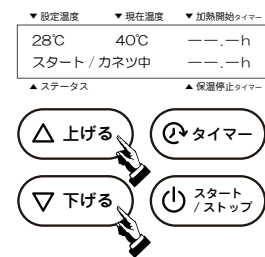
## ■温度を設定する

[△][▽] ボタンをタップすることで設定温度を変更することができます。希望の温度に設定してください。

## ■スタートさせる

希望の温度に設定したら [スタート/ストップ] ボタンを「ピーツ」という音が鳴るまで長押しタップします。

この時、「ピピピツ」と音が鳴り「ヒーターヨクソウニ シズメテクダサイ」と表示される場合は、ヒーターが十分に水に浸っていない可能性があります。ヒーターを正しく水中に沈めてください。



## ■お湯が沸いたら

水（お湯）の温度が設定温度に達すると「ピッピー」という通知音が5回続けて鳴ります。この後、コントローラーは保温モードになりステータスには「スタート / ホオン中」と表示されます。

### お湯が沸くまでの時間と電気代の目安

(1200W ヒーターで 15℃の水を 40℃まで温めた場合)

浴槽のサイズ	所要時間 (目安)	電気代 (目安)
140L (単身者向け - 小)	3 時間 30 分	130 円
170L (単身者向け - 大)	4 時間 10 分	155 円
200L (ファミリー向け)	4 時間 50 分	180 円

※電気代は 1kWh あたり 31 円 (税込) として算出

## ■保温モードを停止する

ヒーターを浴槽から取り出すには、事前に保温モードを停止させる必要があります。スタートさせる時と同様に [スタート / ストップ] ボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、保温モードが停止します。

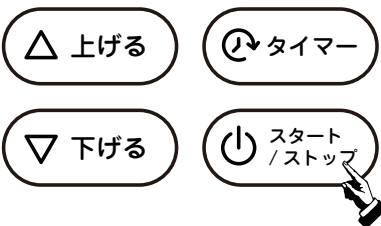
その後、誤操作による再稼働を防ぐためにコントローラーの電源プラグを抜いてください。

## ■ヒーターを取り出す

ヒーターの電源が OFF になったらヒーター管に残った余熱が冷めるまで 1 分ほど待ち、浴槽から取り出してください。

▼設定温度	▼現在温度	▼加熱開始タイマー
40℃	40℃	---. -h
スタート / ホオン中		---. -h

▲ステータス ▲保温停止タイマー



# 加熱開始タイマー

## ■○時間後にスタートしたい

加熱開始タイマーを使用すると、朝起きる時間や、夜入浴したい時間におおよそ合わせてお風呂を沸かすことができます。

まず、ステータスがストップの状態タイマーボタンをタップし、点滅カーソルを加熱開始タイマー表示に合わせます。

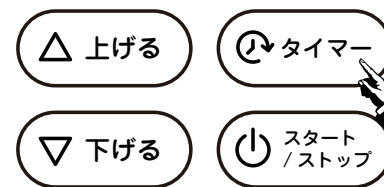
スタートを遅らせたい時間だけ [△][▽] ボタンを使い数字を合わせます。(例: 2.5h → 2 時間 30 分) この状態で [スタート / ストップ] ボタンを押すとステータスに「タイマースタート中」と表示され、タイマーがスタートします。

【例】140L の浴槽で 8 時間後にお風呂に入りたい場合、所要時間 8 時間から沸くまでの所要時間 3.5 時間を引き、4.5 時間 (=4.5h) とセットします。所要時間は浴槽のサイズや季節によっても増減するため、時々沸かす際にかかった時間を計測しておくとう便利です。

点滅カーソル

▼設定温度	▼現在温度	▼加熱開始タイマー
40℃	15℃	---. <b>■</b> h
ストップ		---. -h

▲ステータス ▲保温停止タイマー



# 保温停止タイマー

## ■保温を○時間で停止したい

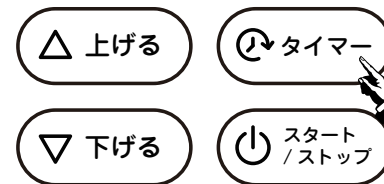
一定時間で保温を停止したい場合、保温停止タイマーを使用します。

まず、ステータスがストップの状態タイマーボタンを 2 回タップし、点滅カーソルを保温停止タイマー表示の位置に合わせます。

点滅カーソル

▼設定温度	▼現在温度	▼加熱開始タイマー
40℃	15℃	---. -h
ストップ		---. <b>■</b> h

▲ステータス ▲保温停止タイマー

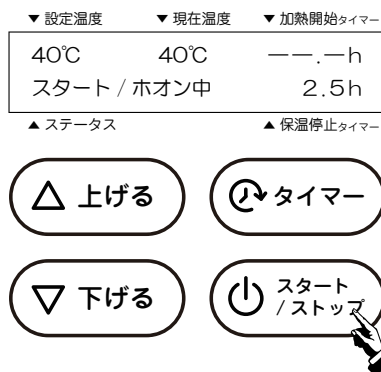


# 保温停止タイマー【つづき】

加熱が終わった後、保温を続けたい時間だけ [△]  
[▽] ボタンを使い数字を合わせます。(例：2.5h  
→2 時間 30 分)

この状態で [スタート/ストップ] ボタンを長押し  
タップすると通常通り加熱が行われた後、指定  
した時間保温が行われます。

指定した時間が経過した後はストップ状態に戻り  
ます。



# ヒーターの出力調整

次の設定を行うことでヒーターの出力を 10 ~ 100% まで、10% 刻みで調整することができます。初期設定のヒーターの出力は 100% です。電源プラグの発熱が大きい場合や高気温環境下では出力を低減した状態での使用をおすすめします。

**【手順 1】** ステータスがストップの状態です [▽] ボタンをタップし設定温度を 5℃ まで下げます。

**【手順 2】** この状態で [スタート/ストップ] ボタンをタップします。

**【手順 3】** 右図のような画面が表示されたら、[△]  
[▽] ボタンで出力の値 (10 ~ 100%) を調整してください。

**【手順 4】** 調整が終わったら電源プラグを抜きます。設定した値は保存されています。再度電源プラグを差し込んでご使用ください。



# 仕様

## 電気湯沸かしキット 3

サイズ / コントローラー	…121(W)x80(H)x36(D)mm
ヒーターコード長	…3m
待機時消費電力	…1W 以下
ヒーター稼働時消費電力	…1200W
設定温度	…6℃ ~ 50℃
タイマー設定可能時間	…0.5 ~ 25.5h
温度センサー誤差	…±0.5℃以内
ケース材質	…PETG 樹脂

## 販売

## ファブクラウド オリジナルキット販売

神奈川県相模原市南区西大沼 1-18-5-103

<https://fabcloud.jp/>

[webmaster@fabcloud.jp](mailto:webmaster@fabcloud.jp)